

(様式1)

令和7年度 岩手県立杜陵高等学校奥州校通信制 学校評価報告書

校長： 北田 義徳

総括的な評価	生徒・保護者対象のアンケート結果は肯定的な評価が多く、学校生活に概ね満足していると判断できることから、重点目標は達成されたと思われる。次年度も生徒一人ひとりに寄り添った指導を継続し、目指す学校像の推進を図る。
--------	--

重点目標	達成指標	自己評価		学校関係者評価	改善方策
		評価項目及び実績等	達成状況		
ア 基礎基本の定着と学力の向上を図る（ICT活用を推進する）。	・教科の授業内容が分かると答えた生徒の割合【85%以上】	授業評価アンケートで「授業の説明や指示がわかりやすい」と答えた生徒の割合が96.5%であった。	○	・生徒のニーズに依っている ・先生方の工夫の賜（複数）	・ICT機器のより積極的な活用等、生徒にとってより分かりやすい授業改善を行っていく。 ・かがやき支援員の活用
イ 人間性豊かな生徒を育成する。	・自分に良いところがあると答えた生徒の割合【60%】	学校生活アンケートで「自分には良いところがある」と答えた生徒の割合が67.4%であった。	○	・様々な生徒がいる中でのこの数字は先生方の苦勞の賜（複数） ・周りの大人の価値観も影響しているのでは？	・今後も生徒の心情や生活を理解した上での声かけを継続していく。 ・行事などでの生徒からのアイデア募集
ウ 基本的生活習慣の確立を図る。	・単位修得率【80%以上】	単位修得率は前期が93.8%、後期91.6%であった。	○	・生徒も先生の努力していることがわかる（複数） ・勉強に対する生徒の前向きさが%に表れている。	・令和6年度後期から3期連続の90%超えとなった。継続していく。
エ 安心安全な学校づくり、いじめ等の未然防止に努め、校内教育相談体制の充実を図る。	・学校生活に満足と答えた生徒の割合【80%以上】	学校評価アンケートで「奥州校に入学して良かった」と回答した生徒の割合が92.1%と高い評価を得た。	○	・高い評価である。素晴らしい。（複数） ・過去に躓いた経験のある生徒の救いになっている。	・分かりやすい授業や生徒に寄り添った丁寧な対応等、今後も生徒にとって居心地の良い雰囲気のある学校づくりに努めていく。
オ キャリア教育を充実し、生徒の進路希望の実現を図る。	・希望する進路目標を達成した生徒の割合【90%以上】	進路を決定し卒業した生徒の割合は46.9%であったが、そのほとんどが生徒自身が希望する進路先であった。	○	・生徒の中にはもう1歩が踏み出せない生徒もいるであろう。 ・生徒の特性や家庭環境等も関係しているので数字だけでは評価できないと思う。	・強く進路指導を進めると学校に来なくなる生徒もいるため、生徒の状況を見ながら、また保護者とも連携を強化しながら進路指導を実践していく。
カ 人権尊重の理念を認識し、生徒が安心安全な学校生活を送れる体制の確立	・安心して学校生活を送ることができる生徒の割合【80%以上】	学校評価アンケートで「生徒や保護者の相談に親身になって対応している」が93.3%、「学校生活を支援するために健康相談や教育相談が適切に行われている」が94.4%とどちらも高い評価を得た。	○	・丁寧に生徒に向き合っている結果である。継続してほしい。 ・93%、94%は本当に素晴らしい（複数）	・スクーリング前の打合せ時に生徒情報共有を継続する。 ・生徒を良く観察しタイミング良く声かけするとともに、生徒の話を親身になって聴く。